

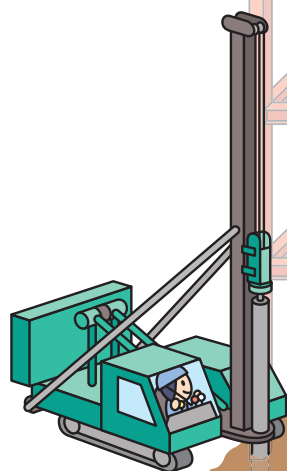
建物ができるまで

①建物の基礎をつくる

まず、測量で建物の位置を決め、地盤をならします。その後、建物を支えるための基礎をつくります。建物が重さで傾かないように、基礎となる杭は、地中にある支持層(岩盤などの固い地層)まで埋め込みます。



機械土工事業



基礎工事業

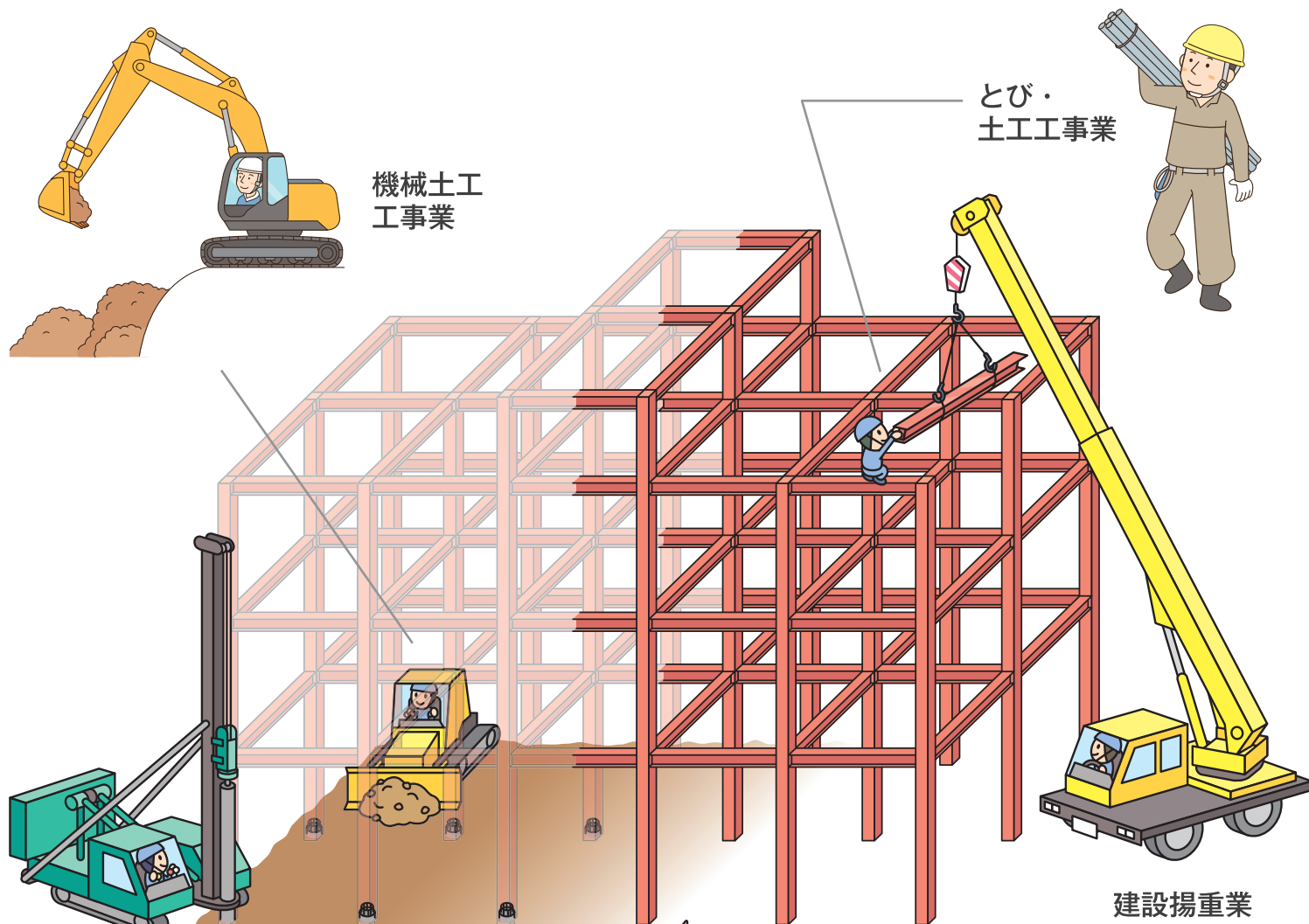


建築士
(現場監督など)

②鉄骨を建てる

(鉄骨鉄筋コンクリート(SRC)造の場合)

杭の上に建物の骨格となる鉄骨を組み立てていきます。高い場所での作業になるので、地上から足場を組み立てながら、それに合わせて鉄骨を縦、横に組み立てて上に延ばしていきます。



とび・
土工事業

建設揚重業



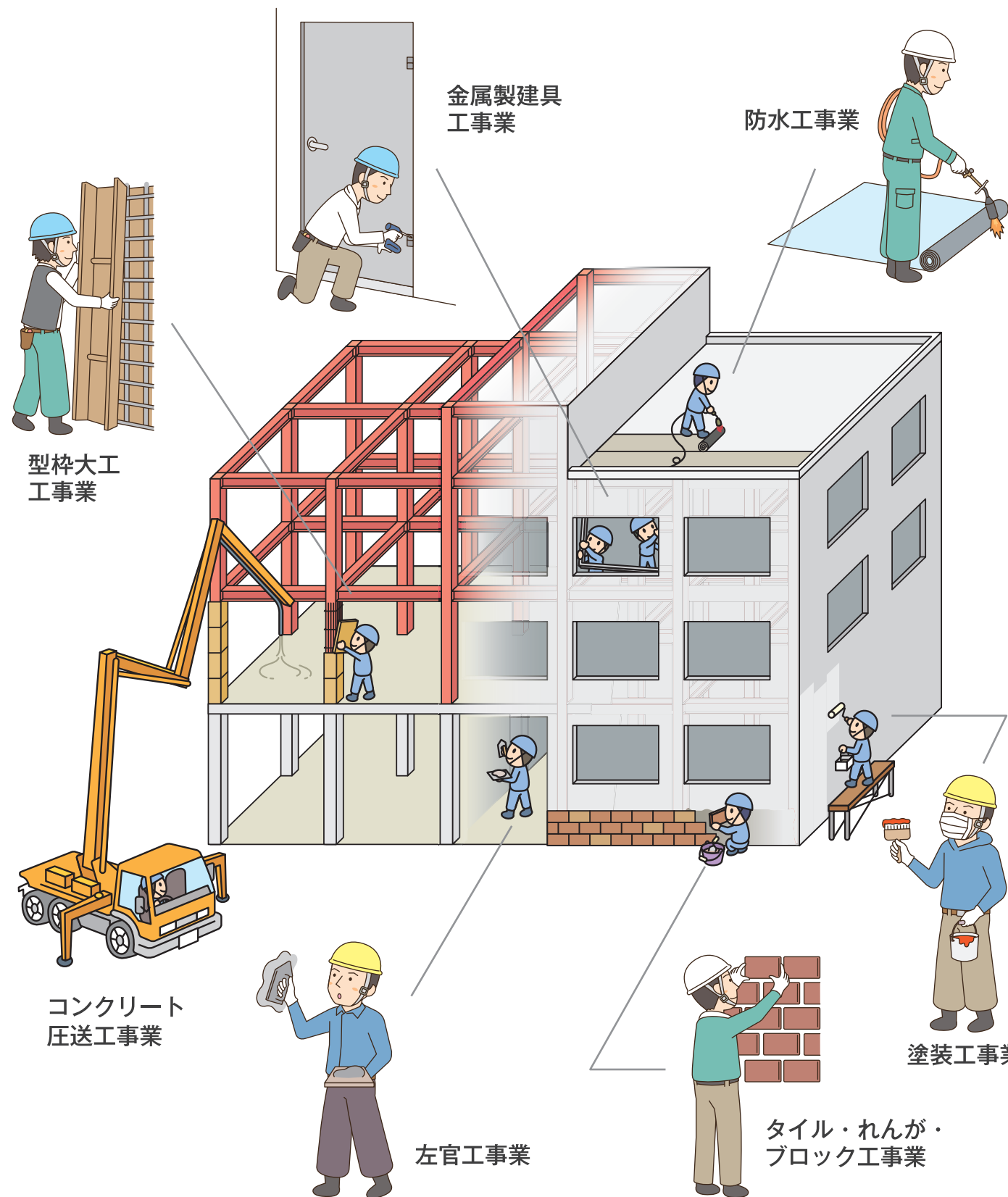
鋼構造物工事業



建築工事業
(現場監督など)

③床や柱をつくる

鉄骨を組み立てたら、鉄筋でその周りを補強します。鉄筋の周囲に型枠を組み立てて、その中にコンクリートを流し込み、鉄筋と一体化させて強い構造にします。このようにして柱や壁、床などをつくっていきます。



型枠大工
工事業

コンクリート
圧送工事業

金属製建具
工事業

防水工事業

左官工事業

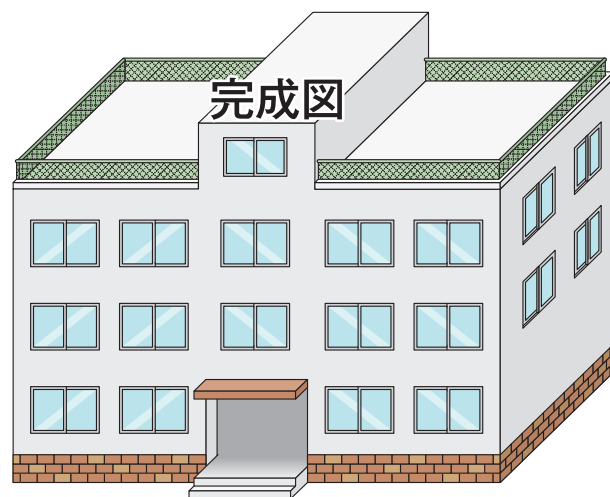
塗装工事業

タイル・レンガ・
ブロック工事業

木造住宅ができるまで

⑤内装を仕上げる

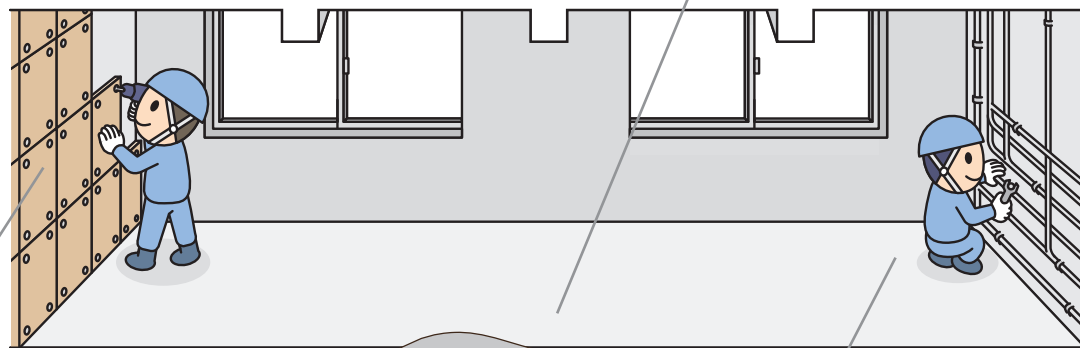
建物内では、内装工事を行います。壁にはボードやクロスを、床にはタイルなどを貼ります。また、電気や空調、水道といった各種の設備工事も実施します。



電気工事業



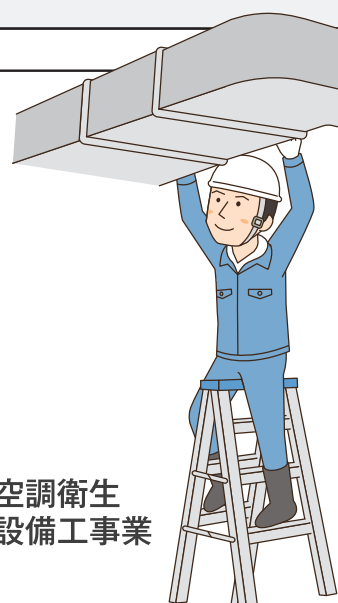
消防施設工事業



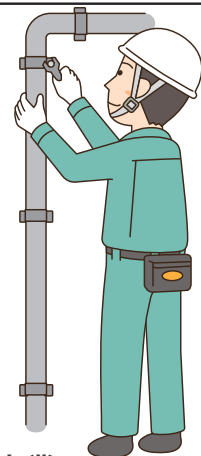
内装仕上工事業



空調衛生設備工事業



管工事業



①柱や梁を組み立てる

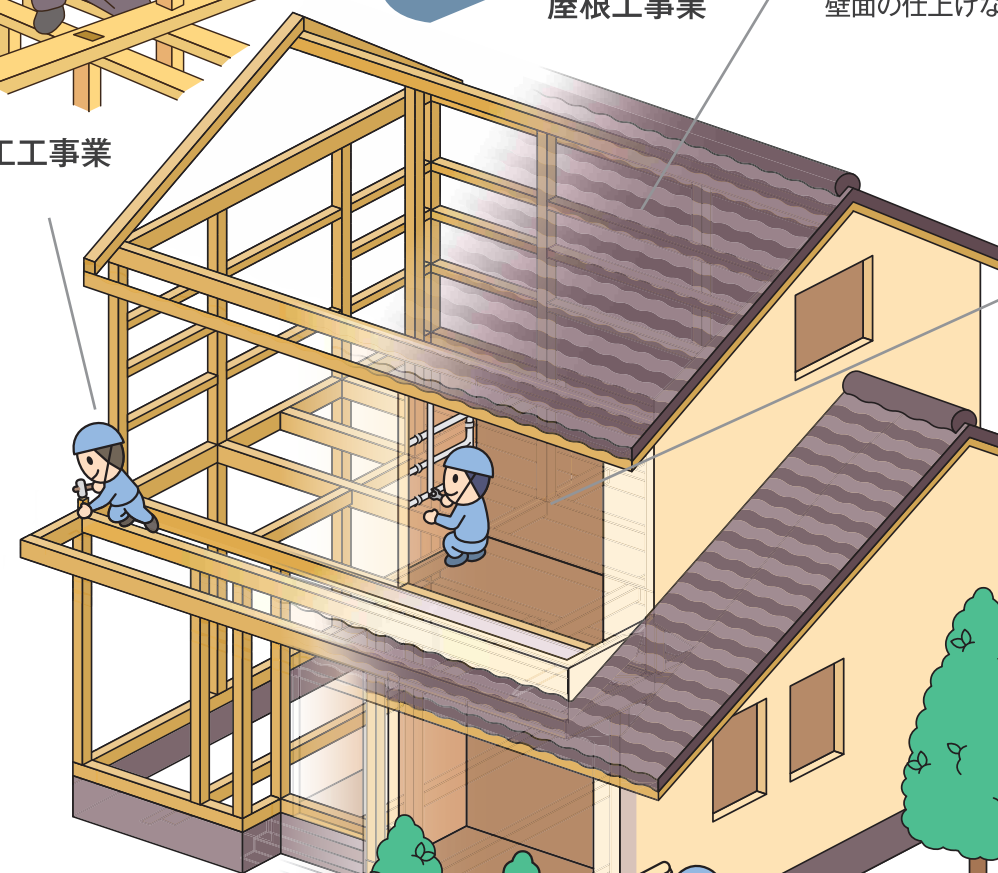
木造住宅では、骨組みとなる木材を「軸組み」と呼ぶ方法で組み立てます。コンクリートでつくった基礎の上に土台となる木材を固定し、柱を立てていきます。その後、梁を架け渡します。



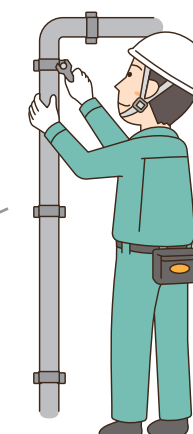
大工工事業



屋根工事業



管工事業



タイル・れんが・ブロック工事業



造園工事業



外壁仕上工事業



建築士
(設計・工事監理)

